

発行 貫汪館 発行日 平成二十四年三月二十三日
発行人 森本邦生 広島県廿日市市宮内一四八〇

今年第一回目の会報は、新しい門人のお二人と柔術の子供達に、「今年の抱負」を書いていただきました。皆さん、この「抱負」を読んで、自身身の目標を持って、今年一年稽古に励んでいただき、お互いが切磋琢磨していただけたらと思います。今年も、稽古に日々精進し、演武会・講習会・会報と少しでもよいものが出来るよう、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

(文責 片岡 潤一)

「今年の抱負」

村上 希(居合)

無雙神傳英信流抜刀兵法を学び始めて一年が経とうとしています。

入門当初は、右も左も分からず、居合という未知の領域で続けていけるか不安でした。自分は至らない点が多く森本先生、姉・兄弟子達などからご指導を受け日々稽古に励んでいます。居合を通して気づいたことがあります。

一つ目は、集中力です。稽古で使用している刀は合金で斬れませんが、手順を間違えば怪我をする危険な武器です。それは敵にも自分自身にも当てはまります。上手く刀を使いこなすため、集中力が身につく様に努力をしています。

二つ目は、柔軟性です。私は、形を行う際、体が硬くてスターウォーズに登場する「C-3PO」のような動きのように鈍いと思います。武器を持って戦う際は、敵に勝利するため策を練

りながら、その場にあつた対応ができる柔軟な動きを身につけなくてはなりません。ただ形を真似するだけでなく、その形の意味も理解し、柔らかい動きを心がけています。

三つ目は、日本史における知識です。

私は、小さい頃から歴史には疎く、とても苦手な分野でした。居合の稽古を重ね、歴史に興味湧くと同時に、歴史を学ぶことは居合を学ぶことと同じであることに気がつきました。そこで、少しずつですが、居合に関する事件や人物を学んでいます。自分が学んでいる居合がいつ

たかどういふものなのか、どういった経緯で無雙神傳英信流抜刀兵法は継承されているのか、学ぶことが多すぎて、未熟である私はまだまだ精進しなくてはなりません。

今年以上のこと意識し、日進月歩で稽古に打ち込む志を持ち続ける良い年にしたいと思います。

「今年の抱負」

中篠迫 桂子(柔術)

今年先輩方の動きをよく見て、感じて、自分にトレースしていく事を目標にしています。その為には、いつも指摘されている力まない事、考えない事、繊細に、と心がけて稽古に臨んでいます。しかし、我が強く、頭で考えすぎ必要以上に力んでしまう為、見る事も感じる事も出来ていない自分がいます。そんな中、よく「まずは楽になる事」とご指導頂き、ふつと楽になります。毎回の指導を無駄にしない為にも、心を楽にして感じ取りたいと思います。また、稽古を通して

相当力んで日常生活を過ごしていた事、自己中心的で相手が見えていない事、長年してきた事は、内面の働きが伴わない形だけの形骸にすぎなかった事等、心が動きに現れる事で、何も分かっていない自分に気づき、自分自身を見つめる厳しい稽古の場でもあります。

一年後、奥深い柔術の稽古を通して、心身共に、少しでも丸い人間に成長したいです。

つづきまして、柔術の子供達の「今年の抱負」です。どの子も真剣に考え、稽古への姿勢がうかがえます。

「今年の抱負」

中郷 稔

今年の抱負は、まず技とその名前を一致させることです。これが、今のところできていないので、先生にいつも質問をしています。そして、技で注意するところを、しっかりと確認することです。

以上のことに気をつけながら、今年もがんばって行きたいと思えます。

「今年のほうふ」

中郷 野々花

私は今年の四月に、五年生になります。

今まで四年間、たくさんのお話を習いました。私が稽古の時に、先生達によく言われる言葉は、「おへそを見て」と言う言葉です。

私は「前まわりうけみ」や「後ろうけみ」でよく頭を打つからです。中でも「前まわりうけみ」です。

なかなか、先生達のようにうまく「前まわりうけみ」ができません、よく竹本先生に言われるので、五年生になつたら、そうやって先生達に言われないようにしたいです。



「今年のほうふ」

中郷 資

僕は、十才になったので学校で二分の一人式がありました。

五年生になって、はかまをはくようになるそうだから、気をひきしめて、じゅうじゅつをしように思っています。

さらに、いじげいの時、技を一回以上かけたかったです。そして、「前回りうけみ」をちゃんと技のかけられた時にできるようにしたいです。

このように、五年生になったら、じゅうじゅつのけいこをがんばりたいです。



「今年の目標」

向井 薫子

私の今年の目標は、二つあります。一つ目は、技を止まらずにすすめる事です。特に新しく覚えた技は、止まって次の動きに行ってしまうので、いつも先生に「止まったらダメだよ。」と言われていたからです。どの技もスムーズに、力をいれずにしたいです。

二つ目は、技をする時に落ち着いてすすめる事です。あせって技をすすると速すぎて、技があまりいたくなくなるので、そこに気をつけたいです。

二つの事を目標にして、今年もがんばりたいです。



「今年のほうふ・もくひょう」

松尾 厚輝

ぼくの今年のもくひょうは、にがてなわざをすこしでもとくいにすることです。そして、とくいなわざは、もつと上手になりたいと思います。

ぼくは、今、四級です。早く、三級に上がりたいです。三級になつてやりたいことは、「じどり」・「かいけんどり」・「くえどめ」です。ぼくは、「いじげいこ」がにがてなので、もつとがんばりたいです。

今年、けいこを休まずにがんばります。



以上、居合・柔術の初心者二名と子供達の「抱負」でした。皆さんこの「抱負」を忘れずに稽古に励んでいただきたいと思います。

つづきまして、3月に行われた、「居合講習会」の感想を濱村さんに書いていただきました。

柔術を専門に稽古をしている濱村さんですが、居合講習会を通じて、刀の扱い方を身に付けようとされています。きつと今後の稽古に変化があることと思います。居合講習会は、今後、隔月で開催されるので、できるだけ参加し、自分を高めていきましよう。

貫汪館居合道講習会（三月）

平成24年3月4日（日）、廿日市市立七尾中学校武道場において、貫汪館主催の居合道講習会が行われました。

まだ肌寒く小雨が降る中にもかかわらず、栃木、神奈川、愛知、福岡県など遠方からお越し下さった方々や、ホームページを御覧になつて興味を持たれた初参加の方、そして貫汪館門弟を含む総勢24名での講習会は、道場が狭く感じられるほどでした。

今回のテーマは「大森流の体遣い」ということで森本先生より絶対力まないということを前提として、はじめに礼法からご指導していただきました。

ここで私は「待つ」ことの大切さを学びました。例えば、座して刀を自分の前に置いて行う刀礼においても、心を静めて体を支える軸がわずかに動き始めるのを待って、はじめて礼法からご指導していただきました。

体を起こすときも立つ時も、体を巡るわずかな流れを待つことでスムーズに動けるということを少しですが実感し、今まで「待つ」ことなく、いかに頭で考えて無理矢理にいびつな動きに体を従わせていたかに気付かされました。

続いて、ひとまず刀を持たず、合掌の姿勢で肘の重さだけを感じながら腕を上下に動かす動作の指導をしていただきました。ここでも、力んで上下それぞれで自然に止まる位置を越えてのけぞり、縮こまれば自由に動ける姿勢を自ら崩すことにつながることを、それは刀を持ったからと言って変わるものではないことを教えていただきました。

そして、講習会が始まってから一時間が経過しようとする頃になり、初めて刀を抜き、初発刀を行いました。

しかし、これまでに先生から今日の稽古の絶対条件は力まない事とお聞きしていたにもかかわらず、刀をもつた途端、自分が強くなったと錯覚してしまうのか、達人にでもなつたと勘違いしてしまうのか、体の中から来る流れを待つことなどお構いなしに、刀を大きく速く振り回したい衝動にかられて、力任せに動いてしまいました。

森本先生が刀を遣う事を時絵や彫物などの伝統工芸の職人の方の繊細なお仕事に喩えられていました。

自分が先生から学んでいるのは、単に見映えが良ければよい踊りや殺陣ではないこと、自分勝手に動かさず体の奥から生じる流れを待つこと、一方、先生や先輩方のように動けないからといって頭で考えすぎないことなど、今回の講習会でも自分の至らない点がいかに多いかを気付かせていただきました。

まずは普段から「待つ」ことを意識しながら稽古を積んで参ります。

（文責 濱村多賀司）



・書籍紹介

それでは、会報の最後に、皆さんに読んでいただきたい書籍をご紹介します。特に、初心者の方には参考になると思いますので、お勧めいたします。

・「武道の礼儀作法（改訂版）」

著者 野中 日文

武道場での礼儀作法を始め、「礼」とは何か？一般常識としての礼儀作法が詳しく書かれています。どうしたら良いのか迷った時に役に立ちます。



・増補版 新編「武術叢書」（全）

武道書刊行会・編

「本朝武芸小伝」・「兵法三十五箇条」などの貴重な伝書が十六篇収録されています。皆さんの武道の知識を深めてくれる一冊になると思います。



この二冊は、どちらも皆さんに知っておいて欲しいことが書かれていますので、ぜひ読んでおいていただきたいと思います。

貫汪館平成24年行事予定

- ・ 四月一日（日） 広島護国神社奉納演武会
- ・ 五月四日（金） 京都下鴨神社奉納演武会（下鴨神社主催） 日本古武道振興会共催
- ・ 五月五日（土） 京都白峰神宮奉納演武会（白峰神宮主催） 日本古武道振興会共催
- ・ 五月 居合講習会
- ・ 六月三十日（土） 柔術昇級審査会
- ・ 七月 居合講習会
- ・ 九月六日（木） 七日（金） 日本武道学会第45回大会（東京農工大学 小金井キャンパス）
- ・ 十月 居合講習会
- ・ 十一月三日（土） 明治神宮奉納日本古武道大会（日本古武道振興会主催）
- ・ 十二月 居合講習会
- ・ 十二月 日本武道学会中四国支部会
- ・ 十二月十五日（土） 柔術昇級審査会
- ・ 十二月十六日（日） 稽古納め
- ・ 廿日市天満宮奉納演武会